

二島中学校だより

No.8

北九州市立二島中学校

校長 森 隆

木枯らしが木々の葉を散らしておりますが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。本校では、大きな学校行事である文化祭も大成功のうちに終わりました。日常の授業では味わえない貴重な体験となりました。すべて紹介することはできませんが、展示部門・ステージ部門の一部を掲載させていただきます。

◇ 展示部門

文化祭のスローガン

「TO THE BEST ～輝け430の夢～」



1年生：紙のステンドグラス

「明るい未来・夢・笑顔」



2年生：モザイク壁画「一期一会

～出会ったものすべてに感謝～」



3年生：モザイク壁画

「～夢へ翔け！ペガサス～」



武道場：3年生

「修学旅行記 絵本」



武道場：書写・ポスター

「夏休み課題 人権作品」



サポートルーム

茶華道部 「生け花」



被服室

2年「刺し子」3年「マスコット」



多目的ホール 特別支援学級

「はしとはし置き」「私のお弁当」



◇ ステージ部門

1年生合唱

「この星に生まれて」「星座」



2年生合唱

「信じる」「予感」



3年生合唱

「手紙」「道」



英語スピーチ

「私が夢中になっていること」



英語スキット

「～1万円札を見つけたら～」



1年6組、2年4組、3年5組

ボテイパ-カッション:「サークル ビート」



3年生ダンス

女子「ハローウィンパーティ」



男子「WORLD ORDER」



3年生演劇「クローバー」

「貴方にとっての幸せって何ですか？」



合唱部「恩返し」

3年生最後のステージ



全校合唱

「ふるさと」「校歌」



どのステージもしっかりと準備ができていて、素晴らしいパフォーマンスでした。そして、観客である全校生徒の皆さんが真剣に見入っている姿が感動的でした。

全校生徒が輝いた感動の1日でした。

◇ 女子バスケット部 市民体育祭市内大会 優勝

市内大会 北九州市若松中学校体育館 10月11・12日 優勝

◇ サッカー部 新人区内大会 惜敗

区内大会 北九州市立高須中学校 10月17日 リーグ戦 敗退

◇ 合唱部 全国大会 JCA合唱コンクール銅賞

全国大会 (埼玉・大宮) ソニックシティ大ホール 10月25日(日) 銅賞

10月24日に二島中を出発し埼玉県まで全国大会に出場しました。本当におめでとうございます。全国で24校の合唱部のうち、20番目に本校の合唱部が、出場しました。ピンと張りつめた緊張感の中、最高の笑顔で、素晴らしい歌声を披露し、銅賞をいただきました。

★ 大会当日の午前中に、大会会場近くの練習場所(スタジオ NOAH)を借りて、練習した。

腹筋100回(毎朝の練習通り)

「スタジオ NOAH」での集合写真

鏡に向かったの合唱練習



★ 翌朝、朝日新聞に記事が掲載された。

2015年10月26日付
朝日新聞
(掲載承諾番号 A15-1926)



さいたま市の大宮ソニックシティで25日に開かれた第68回全日本合唱コンクール全国大会(全日本合唱連盟、朝日新聞社主催)で、中学部門・同声合唱の部に九州支部代表として出場した北九州市立二島(女声)は銅賞を受けた。全国大会出場は6回目。福島雄次郎作曲の南島民謡に伝統的に取り組んでいるどい、今回も女声合唱曲集「南島

全日本合唱コン

難曲も笑顔で銅賞の二島中

歌遊び」シリーズから2曲を歌った。奄美地方に伝わる言葉をもとに、「ほいや、ほいや」とテンポ良い掛け声で収束の喜びを表現するなど、終始楽しいムードでステージを盛り上げた。発声の仕方や小節ごとの強弱の多さから難曲とされるが、部長の森川杏実さん(3年)は「九州らしい歌声や言葉遊びの面白さを伝えることができた」と笑顔だった。

◇ 2015 紀の国わかやま国体【全国障害者スポーツ大会】

◎ 3年5組 竹谷 恭一郎 君 出場

男子バレーボール 海南市総合体育館 10月24日 ベスト4

◎ 3年2組 笹原 拓歩 君 出場

陸上競技(個人) 紀三井寺公園陸上競技場 10月24・25日 100m:優勝 200m:準優勝

◇ 女子バレー部 新人区内大会 準優勝

区内大会 若松体育館 11月7日 準優勝 【12月12日に行われる市内大会に出場決定】

今回の表題は、かぎやまひでざぶろうし 鍵山秀三郎氏の著書です。イエローハットの創業者であり、日本を美しくする会の相談役でもある鍵山氏は、自転車一台で始めた商売を一部上場まで発展させました。また、社員すきみの心の荒みをなくしたいと創業時に始めた掃除の実践は、今日まで50年以上に及び、運動の輪は会社の枠を超え、日本全国・世界にまで広がっています。その偉大な方の著書の中から抜粋した文章を掲載します。「ひとつ拾えば、ひとつだけきれいになる」

私の信念を込めた言葉です。何事始めるにも、大切なことは、一步を踏み出す勇氣。まずこの一步を踏み出さなければ、前に進むことはできません。どんなに優れた考えでも、実行されなければ、栄光の女神も微笑んでくれません。スタートしなければ、ゴールもないのです。良いと思っことはすぐ行動する。悪いと思っことはすぐにやめる。即行則止。この実行力が人生を左右します。具体的には、足元のゴミを拾う実践から始めることです。ゴミを目にしたら、腰をかがめてサッと拾う。この実践を続けているだけで、気づきに対する直観力が研ぎ澄まされてきます。同時に突発的な問題に対する判断能力が高まってきます。

ゴミを拾って感じることは、ゴミを捨てる人は捨てる一方。まず、拾うことはしないということです。反対に、拾う人は無神経に捨てることはしません。この差は年月が経てば経つほど大きな差となって表れてきます。人生はすべてこうしたことの積み重ねですから、ゴミ一つといえども小さなことではありません。

いつも「志は高く、実践は足元から」。この姿勢こそが大切な心構えです。

第一、足元のゴミ一つ拾えぬほどの人間に何ができましようか。

この文章は、とても奥の深い内容なので、ここからいろいろなことを学ぶ事ができます。私が特に感銘を受けたのは、「即行則止：良いと思っことはすぐ行動する。悪いと思っことはすぐにやめる。」です。これは、日々のいろいろな場面で出てきます。何に対しても面倒くさがらず、良いと思っことはすぐに実行する。

- ①「朝のあいさつ」：立ち止まって、相手の目を見て笑顔で挨拶できる。
- ②「早寝早起き朝ごはん」：夜は明日の準備のために早く寝て、朝早く起きて、感謝の気持ちをもってしっかりご飯を食べる。
- ③「人を、物を大切に」：自分と人を大切にすることが、物を大切にすること。そんな人は人を馬鹿にしたり、馬鹿にされたりしない。
- ④「掃除を真剣に」：心を無にして掃除を一所懸命に行うと、心が磨かれる。

こんな当たり前のことをすることが、自分の成長につながります。

「ひとつ拾って、ひとつだけきれいにしましよう。」